

第3回 白馬村計画審議会 会議録

召集年月日	令和2年10月14日(水)			
召集の場所	白馬村役場2階 201・202会議室			
開閉会の日時	開会	午後13時30分		
	閉会	午後14時40分		
出席者数	19名出席			
出席者	区分	役職名	氏名	出席
	教育委員	白馬村教育委員会委員(会長)	幅下 守	○
	公共的団体の役職員	白馬村民生児童委員(会長代理)	横川 定男	○
	議会議員	白馬村議会議員	北澤 禎二郎	○
	議会議員	白馬村議会議員	太田 伸子	○
	公共的団体の役職員	白馬商工副会長	松本 平司	○
	公共的団体の役職員	白馬村体育協会会長	山岸 忠	○
	公共的団体の役職員	区長会副会長	松田 浩貴	○
	公共的団体の役職員	白馬村消防団団長	吉川 玲	
	学識経験者	白馬EVクラブ	渡辺 俊介	○
	学識経験者	白馬村スキークラブ会長	中村 光志	
	学識経験者	白馬村シニアクラブ会長	丸山 高	○
	学識経験者	白馬村農業委員会会長	松沢 正猛	○
	学識経験者	大北農協白馬支所長	竹田 俊幸	○
	学識経験者	白馬村索道協議会長	倉田 保緒	○
	学識経験者	白馬村観光局事務局長	福島 洋次郎	○
	学識経験者	白馬村ボランティア連絡協議会会長	秋山 香理	○
	学識経験者	特別養護老人ホーム白嶺所長	岡田 記子	○
	学識経験者	白馬村金融団幹事長野銀行白馬支店長	松島 亮	○
	学識経験者	白馬建設業組合長	太田 具英	
学識経験者	Hakuba International Business Association	ミラー ジェーム ス イアン マック グレーガー	○	
一般公募	公募委員	宗川 尚美	○	

	一般公募	公募委員	切久保 達也	○
	事務局	白馬村役場総務課 参事兼課長	吉田 久夫	○
	事務局	白馬村役場総務課 企画調査係 長	矢口 浩樹	○
	事務局	白馬村役場総務課 企画調査係	田中 元気	○

1. 開 会

【事務局 吉田総務課長】

開会を宣言した。(進行は事務局 吉田総務課長)

2. あいさつ

【幅下会長】

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。第2回の計画審議会では、事務局より素案が出されまして皆様に意見をいただきました。それを基に事務局で検討を重ね今回最終案として出されている。ぜひ忌憚のない意見を出していただき、より実効性のある後期計画となるようご協力をお願いしたい。

3. 協議事項 (幅下会長が進行を務める)

(1) 第5次総合計画後期計画の素案に対する意見への回答と計画への反映について

【幅下会長】

第5次総合計画後期計画の素案に対する意見への回答と計画への反映について事務局に説明を求めた。

【事務局 企画調査係 田中】

事務局より、資料1・2をもって説明した。

【宗川委員】

前回の会議で、クリーンエネルギーを作る事だけでなく、使うことに関して周知をしなければならないという意見をしたが、それに対しての変更がない。またこの計画が抽象的な内容でよいのかもしれないが、前回10年前に作成した計画で、太陽光についてコンサルを使って研究している。そのことについて理解したうえで指標を作っているのかという意見をしたつもりであったが、それに対しては、学校の屋根に太陽光をつけるなど具体的な目標は入れないものなのか。

【事務局 吉田総務課長】

最終案67頁にある、気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言に対する取り組みとして、地球温暖化に起因する気候非常事態宣言に対し行動を起こすことを宣言している。今後は、具体的な取り組みを定める行動計画の策定を行い、目標の達成に向けて行動しますとして、目標値として行動計画の策定

を加えている。現在行っている再生エネルギーに関する準備会で、再生可能エネルギーに対してどう取り組んでいくのかという部分の行動計画の策定をしている。それを総合計画の目標として定めているので、具体的な行動内容を決めていくのはこれからとなる。現時点で指標として定めるのは難しいので、行動計画の策定というところを目標として、その中で具体的な行動について定めていきたいと考えているため、変更については考えていないとしている。

【宗川委員】

10年前に研究しているものに対して行動することもできると思う。スピーディーな行動をとということをとという事を意見しているが、また行動計画の策定からとなると10年前の計画はどうなっているのかと考えてしまう。その計画を見たうえで行動計画の策定という判断となっているのか。

【吉田総務課長】

10年前の計画については、当時でいう新エネルギーという言葉を使っているのだが、内容としてはこの白馬の地でどれぐらいの賦存量があるのか、可能性としてどれぐらいあるのかという事が結果として出ている。今回の行動計画では、たとえば木質バイオマスの賦存量はあるが、その体制としてチップであったり薪であったりをだれがやっていくのかというところが見えないので、今回目標を設定するにあたって、例えば小水力であれば水利権の申請などについては、村が担うなど、役割分担を定めながら、目標値を体制も含めて設定していくことを行動計画として定めていくための前段としての作業を行っている。このあたりについては10年前より具体的な行動計画を策定しているとして理解いただければと思う。

【宗川委員】

5年後には具体的な行動が起きていることを祈って見守っていきたい。

【太田委員】

資料1の10番の白馬高校の支援について、他県からの入学者数を20人として3学年で60人としたいとなっている。県外からの入学生となると国際観光学科のことかと思うが、県内の子供の数は何人とはなく県外からのみ目標となっている。国際観光学科が60人として、後の普通科を入れて3学年で100人居ないと160人にならない。県の高校再編の基準は2年連続で160名を下回ると再編の対象となる。そうなると2回目なので無条件でキャンパス化や廃校になる恐れがある。2回目で白馬高校だけを特別扱いされることはないと思う。目標値が低いのではないか。高校存続を考えるともう少し上げてよいのではないかと思う。

【吉田総務課長】

太田委員のおっしゃる通り高校再編については前回に引き続きなので努力していかなければいけない。資料1の担当課の回答としては、今後についてはいかに地元の中学生の入学を増やしていくかが重要となるとある。この言葉の背景には、他県からの生徒の募集は努力しているが、寮の事など財政的な問題もあるため、あまり計画として高い数値を掲げづらいこともあるため、現状のままとした

いとなっているかと思う。目標値としては低いかもしれないが、複合的な背景があるため、理解いただきたい。

【太田委員】

財政的なことや寮の問題もあるのでこの数値という事もわかるが、それであれば他県からの入学者数だけでなく、地元の子供たちの入学に対しての目標値を一緒に掲げて、常に160名以上いるようにできるようにしてほしい。

【吉田総務課長】

委員の意見はごもっともだと思う。担当課につないで、目標の設定は事務局で責任をもって行わせていただきたい。

(2) 第5次総合計画後期計画の最終案について

【幅下会長】

第5次総合計画後期計画最終案について事務局に説明を求めた。

【事務局 企画調査係 田中】

事務局より、第5次総合計画後期計画最終案をもって説明した。

【太田委員】

後期計画を策定するにあたって、今までにないコロナ禍という状況により、今まで順調であったインバウンドが今年の冬は壊滅的な状況になるという予測などもあり、ここからの5年間に、とても大きな影響があると考えている。生活の面においてはこの基本構想に沿ったものでよいとは思いますが、観光面などに対して、もう少しコロナで疲弊している状況から頑張るといような数値目標や文書がなければいけないのではないかと。この計画だと、コロナ禍でありながらも粛々と計画の遂行を進めるように受け止められる。そういった考え方はないか。

【吉田総務課長】

先ほどの説明の中で、現状と課題の中ではコロナについて触れさせていただいている。現在の考え方としては、大前提として基本構想を見直すかという判断をまず初めに行っていて、それについては必要ないという結論になっている。ただ、前回の会議でも松本委員からもコロナについて状況が変わったときに計画をどうするのかという意見もいただいているため、具体的な内容については基本計画や実施計画で対応させていただくとお話しさせていただいている。状況が大きく変化する場合については、前回の意見を踏まえて5年を待たずして総合計画の見直しを行うべきという事を、答申の中に加えていく方向で、事務局としては対応していくような考えを持っている。状況下が変わって、基本構想自体を変えなければいけないのであれば、議会の手続きも必要であるが、時機を逸せずそういう取り組みを行うような要望の仕方で答申をさせていただきたいと考えている。

【太田委員】

基本構想まで変えるという大変なことになるので、この文書の中で加えてもらえればと思うが、そのような形で答申の中に入れてもらえるのであれば、加えるまでもないのかもしれない。ただ、この先 5 年間は白馬村にとってどん底になると思う。そこからもう一度頑張っていかなければいけない時期となるので、そのあたりを答申の中でもよいので、どこかに残していただきたい。

【切久保委員】

30 頁の消防団活動の中に、信州消防団員応援ショップ登録店舗数という指標がある。私は昨年まで消防団長、現在は消防委員を務めさせていただいている。この制度ができた背景には、県の団員確保に関する課題があるため生まれてきた制度だと思う。ただ、白馬村としては今まで団員数が足りてきたため、あまり課題としてなかった部分がある。私が団長の際も定員割れよりもむしろ入団したいという声もあつたりした状況で、この制度についてあまり関心を持っていなかった。当然幹部が関心がなかったので、団員にうまく周知できなかつたという反省もある。実はこの制度は非常にお得な制度となっている。ここに出ている白馬村の現状 10 件となっておりさみしい状況になっているが、このことを村の広報などを通じて制度に関する周知をもっと積極的に行っていただければよいと思う。

【吉田総務課長】

積極的な周知を行っていく。

【幅下会長】

これ以上意見が出ないため、最終案については以上とする。事務局より今後の進め方について審議委員の意見をいただきたいという事なので、説明をお願いしたい。

【事務局 企画調査係 田中】

今後の流れとしては、今回最終案にいただいた意見についてはこちらで反映させていただき、改めて委員の皆様へ送付させていただく。それを含めて、計画審議会としての第 5 次総合計画後期計画を答申したうえで、広く住民の方から意見をいただくためのパブリックコメントの実施、また 12 月議会に原案として提出をさせていただく予定となっている。公表に当たっては本日まで審議いただいた計画審議会としての第 5 次総合計画後期計画を白馬村の計画案とさせていただき、今後パブリックコメント等で出された意見については、村として回答させていただきたいと考えているがそういった形でよろしいでしょうか。

【幅下会長】

事務局から提案があつたが、計画審議会としては村長より諮問を受け、審議を行ってきたが、ここまで進めてきた計画と審議会としての意見をまとめて、答申として、今後の意見については村に判断してもらいたいとのことであるが、この方針で問題なければ、審議会として村長に答申したいと思うが、こ

の方向で進めてよろしいでしょうか。

異議なしの声

【幅下会長】

そうすると進めるにあたり、先ほどもあったが、答申を行うにあたって審議会としての意見として加えてたい内容があれば意見してもらいたい。

【事務局 企画調査係 田中】

事務局としては、先ほども話があったが、前回の会議までに意見のあった内容の中で、個別の指標についていただいた意見には回答させていただいたが、それ以外で計画全体に対する意見として、前回の計画審議会の中で松本委員より意見をいただいた、コロナ禍に関する内容については、本来5年間の計画となっているが、計画の見直しが必要となるという意見については事務局としても加えていきたいと考えている。イメージとしては、最終案81頁に前回の答申がある。前期計画は構想があるので少し内容は変わってくるかと思うが、このようなイメージで考えていただければと思う。

【吉田総務課長】

もしイメージがわからないという事であれば、イメージしやすいように、先ほど来出されているコロナの内容を加えたたたき台をお配りさせていただき、そのほかのものがあれば意見としていただけるとありがたい。

～事務局より答申たたき台を配布～

【幅下会長】

事務局よりたたき台が配布されたが、これについて意見があればいただきたい。

【太田委員】

すでに出来ていることに驚いているが、1番目の内容はもちろん入れていただきたいが、前回の時は1. 2と意見が二つあったが、今回は一つだけで終わりという事か。

【事務局 吉田総務課長】

すでに出来ているというわけではなく、イメージがわからない部分があり、意見が出しづらいと考えたため参考に提出させていただいた。当然審議会として意見があればこれに1. 2と加えてつけていくイメージとしてとらえていただければと思う。これだけで出すという事であれば議題に加えさせていただいているが、それも失礼かと思い今回事前に配布はしていなかった。また前回2つという事であるが、

これは基本構想に関する部分があるので、それらを踏まえて答申書に加える内容を委員の皆様につけ加えていただいて村長に答申できればと考えている。

【太田委員】

ここまでの会議の中で一番多く出てきた意見としてクリーンエネルギーに関する内容があると思う。やはりSDGsだけでなく、みんなで模索しているところであると思う。せっかく3回も会議を開いた中で一番多く出ている意見であるので、ぜひお願いしたい。

【宗川委員】

白馬村が5年前と変わっているのは、気候非常事態宣言を行っているなどがあると思うので、それについては具体的に書いていただいて、具体的な行動を行っていただくよう村長に強くお願いしたい。別で、毎回会議の資料の紙が非常に多い。紙が良い方もいるかと思うが、メールでファイルを送るだけでよい方などいると思うので、選択できるようにしてもらいたい。

【事務局 企画調査係 田中】

資料の量が多くなってしまい申し訳ないと思っている。タブレットやモバイルで閲覧できる人もいるため、貴重な意見として今後はそのような対応ができるよう検討していきたい。

【事務局 吉田総務課長】

文言については事務局に任せていただきたいが、出された意見についてはしっかりと加えていきたい。

【幅下会長】

これをもって計画審議会の答申とさせていただきたい。村長に答申するにあたって、後日委員全員で集まり答申するか、会長副会長で代表して行わせていただくか2つの方法があるが、どちらが良いか。

【山岸委員】

前回は会長副会長のみで行っているの、それでよいかと思う。

【幅下会長】

代表してという事で意見が出ているがそれでよろしいか。

異議なしの声

【幅下会長】

後日会長副会長で答申を行わせていただく。

【事務局 吉田総務課長】

事務局から確認させていただきたい。先ほどの基本計画の一部修正と答申の内容について、文言は事務局に任せていただいているが、それについては書面評決という形でお送りさせていただいて、その結果をもって答申とさせていただいてよろしいか。

【幅下会長】

事務局より提案があったが、そのような形でよろしいか。

異議なしの声

【幅下会長】

これですべての議題を終了とする。

4. その他

【事務局 吉田総務課長】

特になし

5. 閉会

【事務局 吉田総務課長】

閉会を宣言した。